

opswitch 利用規約

第1条（利用規約）

opswitch 利用規約（以下「本規約」といいます。）は、クラスメソッド株式会社（以下「クラスメソッド」といいます。）が提供するサービス「opswitch」（以下「opswitch」といいます。）をご利用になるすべてのお客様（以下「利用者」といいます。）に適用される条件となります。

第2条（opswitch）

1. クラスメソッドは、opswitch を、opswitch のサービス仕様 (<https://classmethod.jp/aws/services/opswitch/>)。以下「サービス仕様」といいます。) に基づいて提供するものとします。
2. クラスメソッドは、個人事業主及び法人の利用者に対して、事業目的に限り、本規約の条件に従い、opswitch の利用につき、非独占的かつ譲渡不可の権利を許諾します。
3. opswitch に関する、必要となる機材、設備その他の備品等は、利用者が負担するものとします。
4. opswitch の利用に関する、クラスメソッドが指定する Zendesk を含む外部サービスを利用することにつき、利用者は同意し、当該外部サービスの利用規約その他の条件を遵守するものとします。なお、外部サービスの利用についてクラスメソッドは何らの責任を負いません。
5. クラスメソッドは、opswitch の提供にあたり、無償、有償のプラン及びクラスメソッドが提供する他のサービスとのセットプラン等を設定することができます。各プランの提供内容、利用条件、申込方法及び解除方法その他の詳細は、クラスメソッドが定めるサービス仕様又は別途提示する条件に従うものとします。
6. 無償のプランに関しては、その他のプランと比較して、機能の制限、サポート体制の簡略化等が行われる場合があります。クラスメソッドは、無償のプランの提供内容の変更、中断、終了等について、原則として利用者に対して責任を負わないものとします。

第3条（利用申込等）

1. opswitch の利用を希望するお客様（以下「希望者」といいます。）は、本規約に同意のうえ、クラスメソッド所定の申込フォームに必要情報を入力して申し込み、登録完了の通知をもってクラスメソッドによる申込の承諾とし、本規約を契約の内容としたクラスメソッドと希望者との利用契約（以下「利用契約」といいます。）が成立するものとします。なお、利用契約が成立した希望者を、「契約者」といい、本規約において「利用者」と記載のある場合には、別段の定めがない限り、契約者を含むものとします。

2. 法人の契約者は、クラスメソッドが定める方法により利用者を指定することにより、同法人の事業のために利用する目的の範囲内で、同法人に所属する個人に opswitch を利用させることができます。この場合、同法人は、利用契約の当事者としてクラスメソッドに対して本規約に定める義務を負い、また、自己が指定した利用者に本規約を周知し、本規約を遵守させる義務を負います。クラスメソッドは、契約者以外の利用者に対して、opswitch の提供につき何らの義務を負いません。
3. 契約者が、opswitch について、既に成立した利用契約（以下「前契約」といいます。）とは別のプランの利用を希望する場合は、第1項に準じて、クラスメソッドに対し、利用を申し込むものとします。この場合、新たな利用契約が成立したときに、前契約は終了するものとします。ただし、契約者が前契約に基づいて負う債務については、その履行まで存続するものとします。
4. 利用契約が成立した場合であってもクラスメソッドは自己の判断により次の各号の一に該当する場合には、何らの催告を要せず利用契約を解除することができます。
 - (1) 契約者が、仮差押え、差押え、仮処分、競売の申請、又は破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算手続開始の申立てがあった場合、若しくは租税公課の滞納処分を受けた場合
 - (2) 契約者が、営業停止、休止又は廃止した場合
 - (3) 契約者が、支払いを停止した場合又は手形交換所の取引停止処分等を受けた場合
 - (4) 契約者が、解散、会社分割、事業譲渡又は合併の決議を行った場合
 - (5) 利用者が、債務不履行等を含め利用契約に違反する場合（第21条については、違反しているおそれがあるとクラスメソッドが判断した場合を含みます。）
 - (6) 利用者が、クラスメソッドと競合する事業を行っている場合
 - (7) その他、前各号に準じる事由が生じた場合
5. 前項の解除権の行使は、クラスメソッドによる損害賠償請求を妨げるものではありません。
6. クラスメソッドは、opswitch の提供をやめる際には、契約者に対して、第9条の規定に従って、その旨を通知することで利用契約を解除することができます。
7. 本条の解除権の行使に起因して利用者に損害が発生した場合であってもクラスメソッドは当該損害にかかる一切の責任を負いません。

第4条（サービスの制限）

1. opswitch は、Amazon Web Services, Inc.（以下「AWS」といいます。）が提供する Amazon Web Services、Microsoft Corporation が提供する Microsoft Azure、及び Google LLC が提供する Google Cloud といったパブリッククラウドサービス（以下「パブリッククラウドサービス」といいます。）に関連して提供するものであ

- り、利用者は、利用者がパブリッククラウドサービスの利用を停止又は終了した場合には、opswitch の利用が出来なくなることを確認します。
2. クラスメソッドは、opswitch を通じて、利用者のパブリッククラウドサービスの利用上のデータ及びファイルそのものにアクセスする権利がありません。ただし、クラスメソッドは、opswitch の性質上、opswitch を通じたパブリッククラウドサービス利用にかかるバックアップイメージの作成・削除等の権限を管理します。具体的な権限については、別途定めます。

第5条（利用料金）

1. 有償のプランの契約者は、利用契約の契約期間中、クラスメソッドが別途提示する利用料及びこれに課される消費税相当額（以下「利用料等」といいます。）をクラスメソッドに支払うものとします。
2. 利用料等の支払期日及び支払方法等は、クラスメソッドが別途提示する条件及びサービス仕様、並びにクラスメソッドが opswitch の提供のために利用する第三者のプラットフォーム又はマーケットプレイス（以下「第三者マーケットプレイス」といいます。）にて提示される各種条件及び規約の内容に従うものとします。
3. opswitch の利用が停止、中断、変更された場合、又は利用契約が解約その他の事由により終了した場合であっても、契約者は、契約期間の終期までに対する利用料等をクラスメソッドが定める期限までに支払うものとします。利用料等の支払後の返金は、クラスメソッドが明示的に別途定めた場合を除き、一切行わないものとします。
4. 契約者による利用料等の支払いが確認できない場合、クラスメソッドは、opswitch の全部又は一部の利用を制限又は停止することができるものとします。
5. 支払期日を経過しても利用料等の支払いが確認できない場合、契約者は、クラスメソッドに対して、支払期日の翌日から実際に支払いがなされた日までの日数に年率 14.6% の割合で計算して得られる額を、別途クラスメソッドが定める期日までに支払うものとします。

第6条（知的財産）

opswitch に関する知的財産権等一切の権利は、別段の定めのない限り、クラスメソッド又はクラスメソッドに権利を許諾した第三者に帰属します。

第7条（登録情報変更）

1. 利用者は、契約者が opswitch の利用申込時に申込フォームに入力した情報、及び契約者が法人である場合に契約者が指定した利用者に関する情報（以下、これらを総称して「登録情報」という。）に変更が生じた場合、速やかにクラスメソッドに対してクラスメソッド所定の方法により変更内容を通知するものとします。クラスメソッドは、当該通知を受領するまでの間、既存の登録情報に従い、本規約にかかる処理をします。

- 利用者は、前項の規定における変更内容を虚偽の内容で通知、遅延して通知又は通知しなかったことに起因する自己又は第三者の不利益について、自己の責任として処理解決します。

第8条（利用者データの管理）

- 利用者は、登録情報、自己の opswitch 利用のための認証情報、その他の利用者が opswitch の利用に際して登録又は入力する情報、及び利用者による opswitch の利用により生成される情報（以下、これらを総称して「利用者データ」といいます。）を厳重に管理し、不正使用などによりクラスメソッド、パブリッククラウドサービスの提供者又は第三者に損害を与えないよう必要な措置をとるものとします。
- 利用者は、自己の利用者データの利用上及び管理上の損害について自己の責任と負担で処理し、クラスメソッドは、これにかかる責任を負わないものとします。
- 利用者は、自己の利用者データが不正に使用されたと判明した場合又はそのおそれがある場合、直ちにクラスメソッドに報告するものとし、クラスメソッドの指示があるときにはこれに従うものとします。
- 利用者が自己の利用者データを第三者（以下「利用関係者」といいます。）に使用させた場合など利用者の利用者データを用いて行われた行為は、利用者が行ったものとして取り扱われます。利用者は、当該利用関係者に対して本規約を遵守させ、利用関係者の行為について一切の責任を負うものとします。

第9条（通知）

クラスメソッドから利用者に対する通知は、クラスメソッドの判断により次の各号のいずれかの方法で行うことができるものとします。

- （1） クラスメソッドのホームページ上に掲示する方法
- （2） 利用者が登録した電子メールに対し通知する方法
- （3） その他、クラスメソッドが適切と判断する方法

第10条（利用者の責任）

- 利用者は、自己の判断と責任において、opswitch を利用するものとします。
- クラスメソッドは、利用者の利用、不利用又は利用不能の結果について一切の責任を負わないものとします。
- opswitch に関する利用者が第三者に損害を与えたものとして、クラスメソッドに対して当該第三者から何らかの請求がなされ、又は訴訟が提起された場合、利用者は自己の費用と責任において当該請求又は訴訟を解決し、クラスメソッドはこれにかかる責任を負わないものとします。

第11条（禁止事項等）

1. クラスメソッドは、利用者に対して、次の各号の一に該当する行為を禁止します。利用者がこれらの行為を行った場合、クラスメソッドは、利用者に対して、その行為を差し止めることができます。
 - (1) 法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
 - (2) 公序良俗に反する行為
 - (3) opswitch の運営を妨害する行為及びサービス不能攻撃（DoS 攻撃）とみなされる行為
 - (4) opswitch にかかるリバースエンジニアリング、デコンパイル及び逆アセンブル行為
 - (5) opswitch の利用に関して、利用者を含む他者の権利を侵害する行為、他者に対する迷惑行為
 - (6) opswitch の本来の利用目的から逸脱した行為
 - (7) opswitch にかかるシステム又はネットワークへの不当な行為
 - (8) その他クラスメソッドが不適切と判断する行為
2. クラスメソッドは、利用者が本規約若しくは別途締結した契約に違反し又は本規約上の債務を履行しなかった場合は、利用者に何らの催告なく、opswitch の全部又は一部の停止又は中断、及び利用者との利用契約を解除することができます。なお、当該停止、中断又は解除に起因して利用者に損害が発生した場合であってもクラスメソッドは当該損害にかかる一切の責任を負いません。

第12条 (opswitch の停止又は中断)

1. クラスメソッドは、次の各号の一に該当する場合、利用者に事前に通知することなく、opswitch の全部又は一部を停止又は中断することができるものとします。
 - (1) opswitch にかかるコンピューター・システムの点検又は保守作業を緊急に行う場合
 - (2) コンピューター、通信回線等が事故により停止した場合
 - (3) 天災地変等の不可抗力により opswitch の運営ができない場合
 - (4) パブリッククラウドサービスの提供者が運営するパブリッククラウドサービスの利用を制限した場合
 - (5) 有償のプランの契約者が、利用料等の支払いを遅滞した場合
 - (6) その他、クラスメソッドが停止又は中断を必要と判断した場合
2. 前項の規定にかかわらず、クラスメソッドが計画的に合理的な理由をもって opswitch の全部又は一部を停止又は中断する場合、クラスメソッドは、利用者に対して、あらかじめその理由及び停止日又は中断日を通知します。
3. 前各項の規定により、opswitch の全部又は一部を停止又は中断することに起因して利用者に損害が発生した場合であってもクラスメソッドは当該損害にかかる一切の責任を負いません。

第13条 (解約)

1. クラスメソッド又は契約者が利用契約の解約を希望する場合、別段の定めがない限り、契約者は、クラスメソッドに対して当該解約を希望する日（以下「解約希望日」といいます。）までにクラスメソッド所定の解約申請手続をすることにより、クラスメソッドは、解約希望日の1か月前までに契約者へ通知することにより、利用契約を解約することができるものとします。
2. クラスメソッドが、無償のプラン以外のプランについて利用契約を解約する場合、クラスメソッドは、クラスメソッドと当該契約者との間で、当該利用契約の終了と同時に無償のプランについて利用契約を成立させるか、一切の利用契約を終了させるか、選択することができるものとします。
3. 契約者が、無償のプラン以外のプランについて利用契約を解約する場合、クラスメソッドと当該契約者との間で、当該利用契約の終了と同時に無償のプランについて利用契約が成立するものとします。

第14条（終了）

クラスメソッドと契約者との間において、理由の如何を問わずすべての利用契約が終了したときは、利用者による opswitch の利用ができなくなります。

第15条（保証の否認及び免責）

1. クラスメソッドは、opswitch が契約者の特定の目的に適合すること、期待する機能・商品的価値・正確性・有用性を有すること、契約者による opswitch の利用が契約者に適用のある法令又は業界団体の内部規則等に適合すること、及び不具合が生じないことについて、明示黙示にかかわらず何らの保証もしません。
2. クラスメソッドの責任は、善良な管理者の注意義務をもって opswitch の提供を行うことに限るものとし、opswitch の停止、中断、終了、利用不能又は変更、opswitch 上のメッセージ又は機器の故障若しくは損傷、その他 opswitch に関する契約者が被った損害について、その責任の一切を免れるものとします。
3. クラスメソッドの責めに帰すべき事由により opswitch の利用に関して契約者に損害が生じた場合であっても、クラスメソッドの賠償責任は、契約者が実際に支払った opswitch の直近1か月分の利用料金を上限とし、また、契約者の事業機会の損失、逸失利益、データの滅失又は損壊によって生じた損害、その他の間接損害又は特別損害については、請求の原因を問わずクラスメソッドは賠償の責任を負いません。

第16条（秘密保持義務）

1. 本規約における秘密情報とは、クラスメソッド及び利用者が相手方に開示した技術上、営業上の情報並びに利用契約の存在及び内容等一切の情報をいいます。ただし、次の各号の一に該当する場合は、秘密情報から除外します。
 - (1) 開示を受けたときに既に保有していた情報
 - (2) 開示を受けた後、秘密保持義務を負うことなく、相手方に対する秘密保持義務を負わない第三者から正当に入手した情報

- (3) 開示を受けた後、相手方から開示を受けた情報によらず独自に開発した情報
 - (4) 開示を受けたときに既に公知であった情報
 - (5) 開示を受けた後、自己の責めによらず公知となった情報
2. クラスマソッド又は利用者は、秘密情報を第三者に再開示する場合には相手方による事前の承諾を得なければなりません。ただし、クラスマソッドは、本規約に関する範囲に限り、自己の会社法上の子会社（以下「子会社」といいます。）に対して、利用者の事前の承諾なく秘密情報を開示することができます。
3. クラスマソッド及び利用者は、自己が前項の規定により再開示する第三者及び子会社に対して利用契約における自己の義務と同等の義務を課すものとし、当該第三者及び子会社の利用契約にかかる行為について一切の責任を負います。
4. クラスマソッド及び子会社並びに利用者は、秘密情報を利用契約の履行の目的以外の使用をしないものとします。

第17条（契約期間）

1. 利用契約の有効期間（以下「契約期間」といいます。）は、別途合意をしている場合を除き、利用契約成立日から、有償のプラン以外のプランは1か月間、有償のプランは第三者マーケットプレイスにおける支払方法の登録にあたって利用料等を一括で支払う期間として契約者が選択した期間の満了日までの期間とします。ただし、次の各号の一に該当しない限り、利用契約は同条件で更新されるものとし、以後も同様とします。
- (1) クラスマソッド又は契約者が、第13条第1項の定めに従い契約終了を申し出た場合
 - (2) 有償のプランの契約者が、第三者マーケットプレイスにおいて更新後の期間に対する利用料等の支払手続を行わなかった場合
 - (3) クラスマソッドが、第3条第4項に基づき利用契約を解除した場合
 - (4) クラスマソッド又は契約者が、法令の定めに基づき利用契約を解除した場合
2. 無償のプラン以外のプランについて、利用契約が期間満了により終了する場合、終了と同時に、クラスマソッドと当該契約者との間で、無償のプランについて利用契約が成立するものとします。ただし、前項第3号及び第4号については、この限りではありません。

第18条（情報の取扱い）

1. 利用者は、クラスマソッドが、利用者データをクラスマソッドが定める情報セキュリティ基本方針（<https://classmethod.jp/policy/>。以下「情報セキュリティ基本方針」といいます。）に従って取り扱うことに同意するものとします。なお、クラスマソッドは、opswitchの提供及びサポートのために必要な範囲に限り、利用者データへアクセスし又は利用します。

2. クラスマソッドは、利用者データが日本国内において保存・処理されることを原則とし、EU一般データ保護規則（GDPR）等により域外へのデータ移転が禁止又は制限されている場合又は利用者がこれに同意できない場合は、opswitch の提供を行いません。
3. クラスマソッドは、登録情報を opswitch の提供の目的以外で利用しないものとし、当該情報に適用される個人情報の保護に関する法律、同ガイドライン、情報セキュリティ基本方針及びクラスマソッドが定める個人情報保護方針（<https://clasmethod.jp/privacy/>）に基づいて安全管理措置を講じるものとします。

第19条（利用規約の変更等）

クラスマソッドは、本規約の追加・変更・削除（以下総称して「変更等」といいます。）をすることがあります。クラスマソッドが変更等を行う場合は14日以上の予告期間において、本規約の変更等を行う旨、変更等を行った後の本規約の内容及び効力発生日を第9条の規定に従って契約者に通知するものとします。効力発生日以後の opswitch の提供条件は、変更等した後の利用規約に従います。

第20条（利用契約上の地位の譲渡等）

1. 契約者は、クラスマソッドの書面による事前の承諾なく、利用契約上の地位又は本規約に基づく権利若しくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、承継、担保設定、その他の处分をすることはできません。
2. クラスマソッドが opswitch にかかる事業を第三者に譲渡した場合、当該事業譲渡に伴い利用契約上の地位、本規約に基づく権利及び義務並びに利用者の利用者データを当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとし、利用者は、かかる譲渡につき本項においてあらかじめ同意したものとします。なお、本項に規定する事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第21条（反社会的勢力の排除）

クラスマソッド及び利用者は、自らが反社会的勢力（「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第2条第2号に定義する「暴力団」及びその関係団体等並びにその構成員をいいます。）でないこと、反社会的勢力でなかったこと、反社会的勢力を利用しないこと、反社会的勢力を名乗るなどして相手方の名誉を毀損若しくは業務の妨害を行い、又は不当要求行為をなさないこと、反社会的勢力に自己の名義を利用させ、利用契約を締結するものでないこと、各々の主要な出資者又は役員、従業員等が反社会的勢力の構成員ではないことを表明し、保証するものとします。

第22条（分離可能性）

本規約のいずれかの規定又はその一部が、消費者契約法その他の法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された規定の残り部分は、引き続き完全に効力を有するものとします。

第23条（準拠法及び管轄裁判所）

1. 本規約の準拠法は日本法とします。
2. 利用契約に起因又は関連する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

附則

1. opswitchは、クラスメソッドが提供するクラスメソッドメンバーズサービスの無償オプションとして、クラスメソッドメンバーズ利用規約に従って利用者へ提供をしていましたが、2020年9月1日より正式にクラスメソッドメンバーズサービスから切り離し、独立したサービスとして本規約を制定し適用するものとします。クラスメソッドは、opswitchの利用者に対して本規約制定の14日以上の予告期間をおいて通知し、当該予告期間経過後、当該利用者が opswitch を利用した場合、利用者は、変更に同意したものとみなします。なお、本項は、opswitch の利用継続を希望する利用者の適用条件変更のためのものであり、本規約適用と同時に本規約から削除するものとします。
2. 本規約は、2020年9月1日に制定し、適用します。
3. 本規約は、2024年10月8日に改定・適用します。
4. 本規約は、2026年1月13日に改定・適用します。

以上